（別紙4（2））

事業所名　グループホーム虹の里伊自良

目標達成計画

作成日：　30　年　　10　月　　19　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43（16）	職員のスキルアップを目指す中で、支援内容の職員同対応が課題であり、介護技術以前の、ホームの支援に対する意識共有が重要となる。排泄支援に関わらず、支援内容全般で検討が期待される。	支援内容の職員同対応と意識共有	外部の研修も受けながら、当ホームでも職員全員参加の研修を開催していく予定である。10月のミーティング時に講師を招き、「正しいオムツ交換方法」を講義してもらった。	2　ヶ月
2	35（13）	災害時の職員の確保は重要な課題であり、日頃からホームで検討していくことが必要となる。今後の検討課題として提案したい。	災害時の職員の確保	職員、その家族の安全確保出来次第、速やかに業務につけるよう努める。防災マニュアルには災害時の職員の行動や役割に関する規定を設けてあるが再度周知する。	3　ヶ月
3	26（10）	本人と家族意向の聴取はなされているものの、意向の具体化に工夫が望まれる。また、意向を受けた支援方針、目標設定、支援内容から支援記録までが整合性に乏しく、改善が望まれる。	達成可能な目標にする	達成可能な目標に絞り込み、簡素化したうえで、個人記録との整合性をはかる。	12　ヶ月
4	10（6）	家族等と利用者、職員が一堂に会せる機会づくりが望まれる。家族主導の家族会の発足が現在進める運営改善にも有効であることが期待される。	家族等と利用者、職員が一堂に会せる機会を作る	自宅が遠方で、面会もなかなか来られない家族が何名かみえる。一堂に会するのは難しいが、イベント等のお知らせと共にお便りを出し、根気よく声掛けしていきたい。	12　ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。